

チケットを手にすればバルに金棒!

# いばらきバル

Vol. 6

2017年 11月 23日(木) 24日(金) 25日(土)

http://barfestaibaraki.com/

## まちで楽しもう! イベント情報

### いばらきバル 2017

平成29年11月23日(木祝) ~ 25日(土)  
会場: 茨木市内84店舗

茨木のまちなかで、食べ歩きを楽しむグルメイベント。今年で第6回を迎え、誰もが茨木でお得なバルメニューを満喫してもらいたい。という思いから、テーマを『チケットを手にすればバルに金棒!』として、昨年好評企画の「こどもバル」も同時開催決定! 飲んで食べて歩いてスタンプラリーもあります! 新しい発見とドキドキを探しに街中へ出かけましょう☆

- 場所: 阪急茨木駅~市役所 ~ JR茨木駅周辺
- 時間: 12時~各店舗営業時間
- チケット: 1冊5枚綴り/前売り1冊3,000円、当日1冊3,500円
- 前売りチケット購入方法: WEB、バル協会事務局、JAF関西本部大阪支部、参加店舗にて購入
- 問合せ先: いばらきバルフェスタ協会 (TEL:072-646-9761)
- HP: http://barfestaibaraki.com/

### 安威川フェスティバル2017

平成29年11月12日(日) 10時~15時  
会場: 桑原ふれあい運動広場  
桑原自治会館

安威川フェスティバルは、山とまちをつなぐ取組みの一環です。今年度は「周辺地域・茨木の新たな魅力に出会える場」をテーマに、大人も子どもも1日楽しめるプログラムや飲食ブースをたくさんご用意しています。スタッフ一同、皆様のご来場をお待ちしています。



桑原ふれあい運動広場



アマゴのつかみ取り

現場体験ツアー

- 主催: 安威川ダムファンづくり会
- アクセス: 阪急茨木駅から会場直通の無料送迎バスあり ※会場及び周辺に駐車場はありません。
- 問合せ先: 大阪府安威川ダム建設事務所 建設課企画グループ(072-626-6164)
- HP: http://www.aigawa.jp/

【メイン会場(桑原ふれあい運動広場)直通送迎バス(無料)】  
【阪急茨木駅 発着】 ※日曜及び周辺に駐車場はありません。

(行き)		(帰り)	
阪急茨木駅 発	メイン会場(桑原ふれあい運動広場) 着	メイン会場(桑原ふれあい運動広場) 発	阪急茨木駅 着
9:00	9:30	11:30	12:00
9:15	9:45	12:00	12:30
9:30	10:00	12:15	12:45
9:45	10:15	12:30	13:00
10:00	10:30	13:00	13:30
10:15	10:45	13:15	13:45
10:30	11:00	13:30	14:00
10:45	11:15	13:45	14:15
11:00	11:30	14:00	14:30
11:15	11:45	14:15	14:45
11:30	12:00	14:30	15:00
11:45	12:15	14:45	15:15
12:00	12:30	15:00	15:30
12:15	12:45	15:15	15:45
12:30	13:00	15:30	16:00
12:45	13:15	15:45	16:15
13:00	13:30	16:00	16:30
		16:15	16:45
		16:30	17:00
		16:45	17:15
		17:00	17:30

概ね15分間隔で運行  
※行き帰りともに途中、「安威」停留所に停車します。

## 茨木市観光協会発! 街のアレコレノート

# いばらきのあとも

Vol. 27  
2017 初冬号

発行日/平成29年11月1日  
発行者/一般社団法人 茨木市観光協会 会長 山野 寿  
茨木市駅前4-6-16 茨木市市民総合センター2F TEL.072-645-2020  
編集・制作 茨木市観光協会 情報誌プロジェクト



## 2017 いばらき光の回廊 冬のフェスティバル

茨木市の冬のまちを彩るイルミネーション  
「2017いばらき光の回廊~冬のフェスティバル~」は、今年で5回目の開催となります。今年、「キラッと青春!もっと茨木!!」をテーマにイベントを実施します。  
平成29年12月2日[土] ~ 平成30年1月11日[木]  
午後5時~午後11時

メイン会場である元茨木川緑地の桜並木を、「希望」をコンセプトにきらびやかな空間に演出するほか、JR茨木駅東口には巨大ツリーが登場。また、阪急茨木市駅西口及び阪急南茨木駅、市内の商店街でもイルミネーションを実施し、茨木の冬のまちを彩ります。  
点灯初日には、中央公園北グラウンドでの点灯式のほか、イルミフェスティバルが開催され、ステージパフォーマンスや多くの飲食ブースが出店します。クリエイトセンターでは大学生が企画する子ども向けワークショップなどが楽しめます!!

※参加大学: 追手門学院大学、大阪成蹊大学、梅花女子大学、摂南大学、立命館大学

## 大人気!! いばらき観光ウォーク

11月 藤原鎌足(蹴鞠鑑賞)コース  
平成29年11月23日(木・祝)

“古代ロマン あつ藤原鎌足がわがまち茨木に!”鎌足のお墓だと言われる「阿武山古墳」を訪ね、ゆかりの深い阿為神社で蹴鞠鑑賞をします。更に鎌足公古廟と言われていた「將軍塚古墳」も巡ります。

■ 歩程距離: 約8km  
■ 参加費: 300円(観光協会会員200円)  
■ 応募締切: 平成29年11月15日(水)

12月 隠れキリシタンの里を訪ねるコース  
平成29年12月17日(日)

貴重な遺物が展示されている「キリシタン遺物史料館」やキリシタン墓碑が残る「高雲寺」など、隠れキリシタンゆかりの地を巡ります。

■ 歩程距離: 約8km  
■ 参加費: 300円(観光協会会員200円)  
■ 応募締切: 平成29年12月4日(月)

1月 古墳を巡るコース  
平成30年1月21日(日)

茨木から高槻にまたがる三島地区は500基以上の古墳が発見されている日本有数の古墳地帯です。歴史的にも貴重な古墳が沢山あります。古墳を身近に感じながら巡ります。

■ 歩程距離: 約8km  
■ 参加費: 300円(観光協会会員200円)  
■ 応募締切: 平成30年1月12日(金)

### 編集後記

- 僕、文学的センスはないけど裏話は得意だよ!(石童子君)
- 今回も勉強になったなあ(ようよう3)
- 結構見るべきものがたくさん、茨木の文学散歩。2日くらいかかりそうです。(TAD)
- 私が知らないだけでも知れないが、茨木と縁がある人たちの「文学の散歩道」があると思います。(まれすけ)
- 学生ならではの情報をお届けしていきます!お楽しみに!(Syumirun!リョータ)

### 注目 フレンド会員募集!

年会費2,000円で茨木市内の約70店舗で特典サービスが受けられるフレンド会員カード。

■ 観光協会 電話:072-645-2020  
■ HP: http://www.ibaraki-kankou.or.jp/ 茨木市観光協会の窓口で登録できます。

vol.28 2018 初春号  
次号は2月発行予定! お楽しみに

観光協会事務局などで配布予定です

平成29年12月2日(土) イルミフェスティバル (中央公園北グラウンド、クリエイトセンター) 午後1時~午後9時

[ステージイベント]  
堂珍嘉邦さん(ケミストリー)によるゲストラライブ、キャラクターショー、ファストドロー大会、飲食ブースなど  
※飲食ブースでは、身体が温まる食べ物などが出店予定です

点灯式(中央公園北グラウンド) 午後5時頃  
イルミネーションの一齐点灯、オープニングセレモニーを開催します。

- ### イルミネーション実施エリア
- 元茨木川緑地(税務署前~高橋) ※メイン会場
  - JR茨木駅東口(いばらきスカイパレット)
  - 阪急茨木市駅西口
  - 阪急南茨木駅(サンチャイルド)
  - 市内の一部商店街
-



# 文学の街 茨木

茨木市には小説家三人のミュージアム施設があるんだ、こんな街は珍しいんだよ！  
また、現代の文学に影響を与えた作家や小説家と縁があるので紹介するね。



## そのほか茨木市と縁のある文学者たち

### 【大宅壮一】評論家

大宅壮一は茨木中学では川端康成の3学年後輩でしたが、校内では川端より有名で月刊誌の短歌などに投稿し常に入賞していました。富田村(現:高槻市)の醤油屋の家業と学業を、一日おきに掛け持ちし、大八車に醤油樽を乗せて配達したり、集金も任されるほど。フランス語やいろんな言語を独学で学ぶ秀才でしたが、4年生の時、米騒動の件で政府を批判演説し中退。しかし最難関の検定試験から第三高等学校(現:京都大学)に入学しました。戦後はジャーナリストとしてその才能をいかんなく発揮しました。「一億総白痴化」「駅弁大学」「恐妻」「ロコミ」などの語録が有名です。代表作「文学的戦術論」



大宅は中退ですが、茨木高校創立70周年記念では、川端・高崎達之助(元電源開発公社総裁・元通産大臣)のOBと共にバチリ!

### 【二反長半】児童作家

二反長半も茨木中学の出身(茨木市福井)。法政大学に進むのですが、8才上の川端康成の影響もあり、川端や大宅、井伏鱒二らと「少年文学」を発行し、少年向けの偉人伝や童話など児童文学を主に書きました。父の二反長音蔵は旧姓「河端」で隣家の二反長家に養子に入り、台湾総督府顧問江藤新平の支援を受け、福井村をはじめ各地でケシ栽培を始めました。ケシから作るモルヒネ製造を独占していた星製薬社長、星一とともに東洋の阿片王と呼ばれた人物です。ちなみに星一の息子がSF作家の星新一です。



中河原の道標の文字 西河原街道と亀岡街道が交差する中河原道標には、半の父(二反長音蔵)が養子に行く前の「川端音蔵」として刻まれています。

### 【井上靖】小説家

大阪毎日新聞社に勤務していた井上靖は戦後の数年間、茨木駅の近く(西中条町)に住んでいました。芥川賞を受賞する「闘牛」はここで書かれたそうです。元町の茨木心齋橋筋商店街の寿司屋によく足を運んだと聞いています。



井上靖がよく行った貫寿司。残念なことに廃業されました。

### 【阿部牧郎】小説家

「それぞれの終楽章」で第98回直木賞を受賞した阿部牧郎は、京都で生まれ疎開先の秋田育ち。京都大学文学部を卒業し永年、茨木市に住まわれています。直木賞には7回ノミネートされ、8回目で受賞されました。これは2番目に凄い記録です。昭和40年代は超売れっ子で、週刊誌を読まれた方も多かったです。

### 【筒井康隆】小説家

大阪市生まれですが、1950年春日丘高校入学。演劇に興味を持ち、同志社大学文学部でも演劇をされ、俳優も経験されました。SF小説を読んで衝撃を受け、草創期から参加し、SF界の文学賞「星雲賞」は第一回から受賞されています。直木賞に3度候補に挙がりましたが受賞ならず、「虚人たち」で泉鏡花賞、「夢の木坂分岐点」で谷崎純一郎賞、「朝のガスバー」で日本SF大賞を受賞されています。



藤棚は春日丘高校のシンボル、筒井康隆は校歌にもある藤蔭で本を読んでいたのかな?

## 茨木市が誇る著名小説家の記念館

### 川端康成文学館

明治32(1899)年、大阪市に生まれた川端康成は両親を早くに亡くし、現在の茨木市宿久庄にあった祖父母の家に引き取られ、そこから豊川尋常高等小学校(現・豊川小学校)、旧制茨木中学校(現・茨木高校)に通学しました。昭和43(1968)年、日本で初めてノーベル文学賞を受賞し、茨木市の名誉市民になった氏に親しむ拠点として、1985年5月に川端康成文学館が開館しました。中学在学当時の康成の貴重な資料なども展示されています。



小中学校時代を過ごした祖父の家がミニチュアセットで再現されているよ!

茨木市立川端康成文学館  
【住所】上中条二丁目11-25  
【電話】072-625-5978  
【開館時間】午前9時～午後5時  
【休館日】火曜日、祝日の翌日、12月28日～翌年1月4日

### 富士正晴記念館

平成4(1992)年4月、市中央図書館北側に併設して開館しました。徳島県生まれの富士正晴は、昭和26年から茨木市に在住。詩や小説以外にペン画、書画や版画、陶芸にその才能を発揮しました。氏の交友関係は幅広く、戦後の文学界の重鎮(三島由紀夫、島尾敏雄、高村光太郎、三好達治、井上靖、山崎豊子、開高健、五木寛之)ら、また三高(第三高等学校(現:京都大学))の縁で貝塚茂樹、今西錦司、桑原武夫らそうそうたる顔ぶれです。そして桂米朝ら放送演芸界、作家仲間には司馬遼太郎、野坂昭如らが、安威の竹藪に囲まれた自宅に酒を持参して集まったそうです。記念館には安威の書齋が再現され、独特なタッチの版画なども展示されています。代表作:「敗走」「競輪」「微用老人列伝」(この三点は芥川賞候補に)、「帝国軍隊に於ける学習、序」(直木賞候補)、「桂春団治」、映画化された「豪姫」など



文化勲章受章者や各種の文学賞受賞者らと酒を飲み交わした復元された書齋

富士正晴記念館  
【住所】畑田町1-51 (中央図書館併設)  
【電話】072-627-7937  
【開館時間】午前9時30分～午後5時  
【休館日】第2・3・4・5月曜日(祝日と重なる場合は開館し、その翌々日が休館)、年末年始、中央図書館の資料点検期間

### 宮本輝ミュージアム

宮本輝氏は1947年神戸市のお生まれです。1966年茨木市に創立されたばかりの追手門学院大学に入学されました。1977年デビュー作「泥の河」で太宰治賞、翌年「瑩川」で芥川龍之介賞、その後「優駿」で吉川英治文学賞、「約束の冬」で芸術選奨文部科学大臣賞文学部部門、「骸骨ビル」で司馬遼太郎賞などを受賞されています。追手門学院大学在学中に所属されていたテニス部の体験をもとにした「青が散る」(TV放映)なども有名です。宮本作品の世界に浸れるミュージアムです。



天井の高いスペースに、とても味わいのある直筆の原稿のコナーなどもあり宮本輝ファン必見の場所です!

宮本輝ミュージアム  
【住所】茨木市西安威2-1-15 (追手門学院大学附属図書館内)  
【電話】072-641-9638  
【開館時間】HPでご確認ください  
「宮本輝ミュージアム」で検索

茨木の町には、文学に適した自由な空気があったのかなあ?



## Syumirun! のオススメSPOT



こんにちは立命館大学、いばらきキャンパスの学生団体「Syumirun!(しゅみるん)」です!今回、大学生の目線から、読書にぴったりなオシャレカフェをご紹介します!僕たちが紹介するのがこちら、阪急茨木駅近くの「カフェ小町」さんです。水の町「茨木」の特徴を生かした水路沿いにお店を構えています。店内は木を基調にしたやわらかい雰囲気、ソファや木のイス、カウンターまであります。とてもオシャレなカフェなので、「インスタ映え」間違いなしです!メニューはお食事、ケーキ、パフェなど豊富に用意されているので、きつとお気に入りが見つかります。女性に人気のサラダから、学生に人気のボリュームたっぷりの丼ぶり。3日間煮込んだ豚の角煮のプレート。カフェ小町のこだわりが感じられます。美味しいチーズケーキやチャイティーも食後におススメですよ。カフェ小町でゆっくり、日々の疲れを癒してみたいかがでしょうか。次号も楽しみにしてくださいね!以上Syumirun!からでした!

【大学生用語辞典】インスタ映え 写真共有SNSサイト「Instagram」に公開する写真の見栄えが良いという意味の表現。



カフェ小町  
【営業時間】11時～19時  
【アクセス】阪急茨木駅すぐ

【Syumirun!】とは  
学生と茨木市と企業の架け橋を目指す立命館大学の学生メディア。  
<http://syumi-da.xyz/>

